

放課後等デイサービス 自己評価表

作成日 2024年2月27日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			落ち着いて過ごせる場所、身体を動かせる場所に分けて設定している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内のスロープや手すり、階段のネット等はつけている。 入口が階段を上る為、利用できる方に制限がかかっている。
業務改善	④	業務改善を進めるため PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを共有し、意見を反映できるようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	検討しているが実施は出来ていない。 顧問税理士による経営助言は受けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	○			月に1回研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年に4回個別支援計画を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	ツールは使用していない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか			○	職員数が少ない為、チームではなく、内容に合わせた担当職員が行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節ごとの活動等、ありふれた活動にとらわれず、普段行わないような活動を取り入れるようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日の基本的な活動、休日のお楽しみ活動、長期休暇の将来に向けた活動等、目的を分けて行っている。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の成長速度は速く、6か月では長いと考える為、3か月に1回見直しを行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ず職員で集まるわけではないが、計画表などを確認して取り組んでいる。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	送迎時間に差が生じている為、終了後は実施していない。 必要な情報共有は翌日行う。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画の目標内容を記載した書式を設定し、内容に沿った記録を作成している。	
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			同じ題材であっても昨年度とは異なる内容を行えるよう配慮している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校行事の際の受け入れ場所の確認等も行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					受け入れなし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか					今年度は実施なし。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					対応児童なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				○	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	公園や外出での関わり程度。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				○	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳、帰りの送迎や必要に応じて電話にてその日の過ごしや必要な報告事項を伝えている。 また、定期的に面談を行い、日頃の様子以外についても情報共有を行っている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			対応方法について相談があった際には助言を行っている。 また、自宅にて児童・保護者がいる状況で対応方法を実施することもある。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に実施。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			作品展を実施。 自身の子供だけでなく、一緒に活動を行っている他児の作品も見ることができるように配慮している。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情になる前の段階から、相談や質問として話をしてくださっているので、落ち着いて話ができている。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		希望者に対して活動写真を配布している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		作品展を行う際、保護者の方を通して教員や支援員等を誘ってもらっていることがある。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練だけでなく、防災センターに行ったり、アプリを活用した防災学習を実施している。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	/	/	/	実施なし。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			診断結果や、保護者からの指示を確認して実施している。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		情報としては共有しているが、書面に出来ていないところもある。